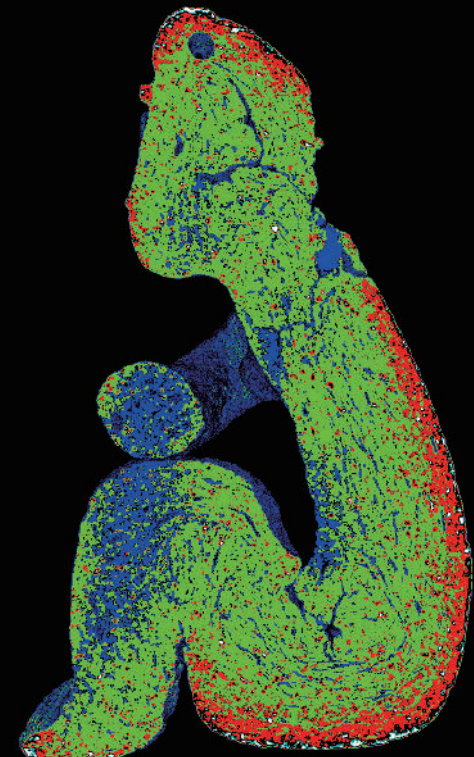


2023年度弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター企画展



弘前大学の文化財科学

未来へ文化財を受け継ぐ



令和5年 10月14日(土)~11月12日(日)

開館時間 10:00~16:00 入場無料 期間中無休 10月27~29日のみ休館

開期ならびに開館時間に変更になる場合がございます。開館状況等は、ホームページにてお知らせしておりますので、ご確認ください。

<https://human.hirosaki-u.ac.jp/kitanihon/> 北日本考古学研究センターHP



会場 弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター展示室(総合教育棟2階)
〒036-8560青森県弘前市文京町1番地 Tel:0172-39-3190

主催 弘前大学人文社会科学部北日本考古学研究センター

協力 東北大学総合学術博物館・鯉ヶ沢町教育委員会・五所川原市教育委員会・つがる市教育委員会・弘前市



2023年度 弘前大学人文社会科学部 北日本考古学研究センター 企画展

未来へ文化財を受け継ぐ

弘前大学の 文化財科学

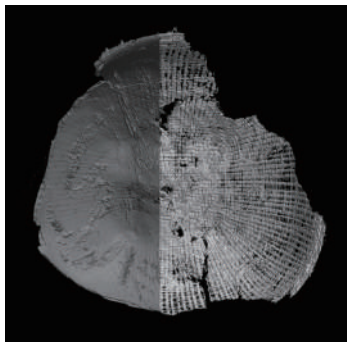
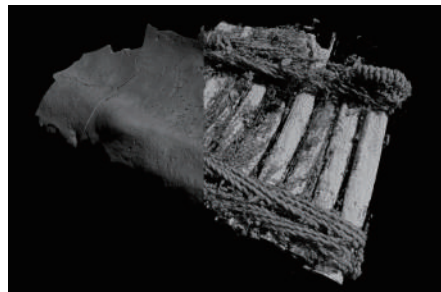
本企画展『未来へ文化財を受け継ぐ — 弘前大学の文化財科学 —』では、日本における文化財科学の成り立ちを概説し、これまで弘前大学が県内外で行ってきた文化財科学に関する活動を紹介します。特に、「保存科学」、「材質・技法」、「文化財防災」、「活用研究」をテーマに、本地域で果たしてきた文化財科学の役割を紹介します。

「保存科学」では、具体的な考古資料の保存処理方法を解説し、博物館における活用展示に関連する遺構の切り取りや土層転写などの技術的な側面から実物を交えて解説します。「材質・技法」では、北日本考古学研究センター独自の的方法論に基づく、県内外の縄文時代の漆工品の製作技術を紐解く展示を映像や展示パネルなどを通じて紹介します。「活用研究」では、従来の亀ヶ岡デザインを使った商品開発に加え、土偶や遮光器土偶のVR観察や超拡大撮影により体験するコーナーを設けます。また、センターでは、平成23(2011)年3月に発生した東日本大震災や令和4(2022)年8月の大雨による青森県鯉ヶ沢町で被災した文化財のレスキュー活動の成果を紹介します。

本企画展を通じて、文理融合型の総合研究である文化財科学と、地域における文化財の保存活用の楽しさについて知っていただければと存じます。

主な展示資料

- 北日本考古学研究センター
VR体験、CTデータ(遮光器土偶、腕組する土偶等)、3Dプリンターレプリカ資料等
- 弘前大学人文社会科学部成田コレクション保管資料
遮光器土偶、腕組する土偶等
- 鯉ヶ沢町教育委員会保管資料
水損被災文書資料、文化財レスキューの道具
- 五所川原市教育委員会保管資料
遺構切り取り標本(五月女菀遺跡古代焼失住居跡)
- つがる市教育委員会保管資料
土層標本(田小屋野貝塚)
- 文化財科学研究室の活動実績紹介(映像、ポスター)



成田彦栄氏考古資料収蔵展示室 特別公開



弘前大学文京町地区
キャンパスまでのアクセス
JR弘前駅から
● 徒歩の場合: 約20分
● タクシーを利用する場合: 約5分
● バスを利用する場合
JR弘前駅前(中央口)【3番のりば】
「小栗山・狼森線」または「学園町線」
に乗車、【弘前大学前】